

事業年度 4月1日～翌年3月31日

期末配当金
受領株主確定日 3月31日

定時株主総会 6月

株主名簿管理人
特別口座の管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒183-0044 東京都府中市日鋼町1-1
府中Jタワー4階
☎ 0120-232-711 (東京)
☎ 0120-094-777 (大阪)

単 元 株 式 数 100株

公 告 の 方 法 電子公告により行う

公告掲載URL
[http://www.xcat.co.jp/ir-info/
electronicnotification/](http://www.xcat.co.jp/ir-info/electronicnotification/)
(ただし、電子公告によることができない事故、その
他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新
聞に公告いたします。)

ご注意

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きに関しましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

■ IRサイトのご案内

当社IRサイトにおいて、最新のIRニュースから業績・財務情報をはじめ、詳細なIR情報を開示しております。是非ご覧ください。

<http://www.xcat.co.jp/ir-info/>

X・C・A・T
株式会社 **クロスキャット**

おかげさまで
東京証券取引所市場第一部に
指定されました

第46期 株主通信
2018年4月1日～2019年3月31日

株式会社 **クロスキャット**



株主のみなさまへ

おかげさまで東証第一部指定を
受けることができました。
新しいステージでさらなる飛躍を
目指します。

代表取締役会長

牛島 豊

代表取締役社長

井上 貴功

企業理念 心技の融和

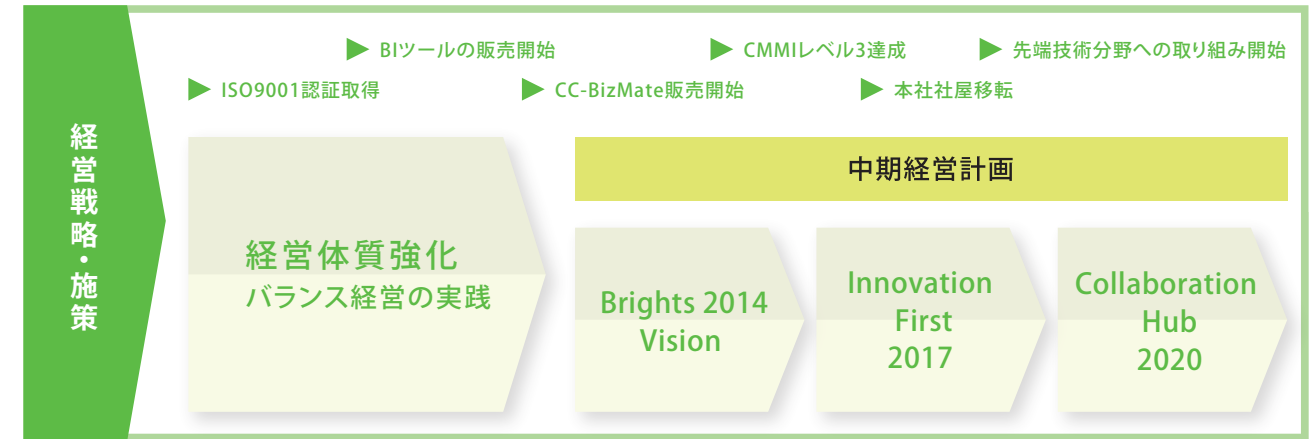
クロスキャットは、知識・技術・創意という知的要素である『技』を高め、お客様には『心』で対応する。つまり『心技の融和』をモットーとして社会に貢献します。

経営理念 技術と感性

私たちは、企業理念にある『心』の本来は誠意であり、時には意欲・忍耐・信念をも包含すると考えます。従って、どんな困難な局面においても『ハート』を失わないよう努めます。私たちは、先進的なアプリケーション開発技術と、多様な運用のノウハウを駆使し、ユーザーへの総合的かつプロフェッショナルなサービスの提供に努めます。私たちは、常に時代を見る眼と、みずみずしい感性を持ち、世のトレンド、環境にフレキシブルな対応ができるよう努めます。

Our History
株式上場からのあゆみ

当社は社会の変化を見据えて新たな分野への挑戦を続ける一方、経営基盤を着実に固め、お客様に信頼される企業であることを第一に成長を続けてきました。その結果、2018年12月13日、東京証券取引所市場第一部に指定されました。



1997 …… 2002 ▶ 2003 ▶ 2004 …… 2012 ▶ 2013 ▶ 2014 ▶ 2015 ▶ 2016 ▶ 2017 ▶ 2018 ▶ 2019 ▶ 2020 ▶ 2021



できごと

- FIFAワールドカップ日韓大会
- 東日本大震災
- リーマンショック
- 郵政民営化
- 消費税が5%から8%に増税
- 働き方改革の機運が高まる
- 銀行再編成、メガバンクに集約

価値創造企業として 世の中の役に立つ企業で あり続けます。

代表取締役社長

井上 貴功



Q 2018年12月、クロスキャットは東証第一部に指定されました。今後の抱負についてお聞かせください。

おかげさまで当社は昨年6月11日にJASDAQから東証第二部に市場変更、さらに12月13日には東証第一部への指定変更を受けることができました。これもひとえに株主様をはじめステークホルダーの皆さまのご支援、ご愛顧の賜物であり心から感謝しています。

東証第一部企業の仲間入りをさせていただいたからには、当社に投資して下さる皆さまのご期待に沿えるよう、そのステージに相応しい経営や企業としてのふるまいを心がけていかなければならないと、強く感じています。

ここがゴールではなく、新たなスタートラインに立ったつもりで責任感と緊張感をもって事業経営にあたっていく所存です。また、社員には東証第一部の自

覚と誇りを再認識してもらい、決して驕ることなく一丸となって会社とともに成長してほしいと願っています。

Q 本事業年度からスタートした新中期経営計画「Collaboration Hub 2020」の推進状況はいかがですか？

中期経営計画では5つの重点項目ごとにアクションプランを定め、活動しています。2018年度、特に注力した項目についてお話しします。

まず成長エンジンとしてクラウド型製品サービスの販売に力を入れました。Webマーケティングを強化した結果、勤怠管理ソリューション「CC-BizMate」の導入社数と売上高は前年度の約2倍、利用者ID数は約3倍と、大幅に伸長しました。また、アライアンスの強化にも取り組み、異分野である社会保険労務士の方々との連携や、先端技術のベンチャー企業との提携、当社製品のお客様のためのユーザー会の組成

など、一定の成果が得られたと感じています。

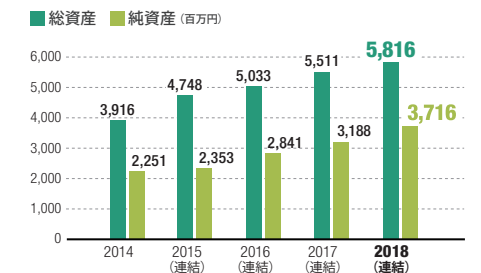
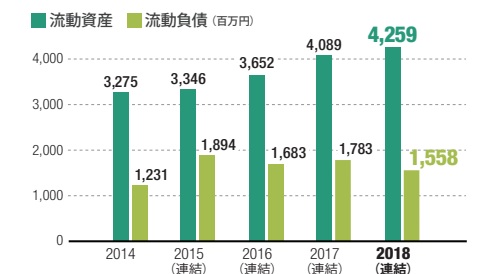
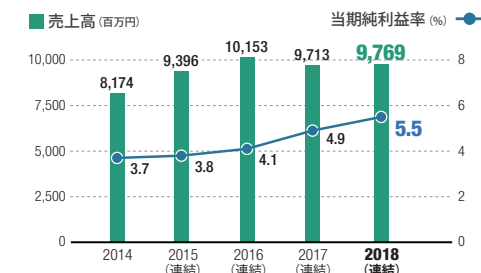
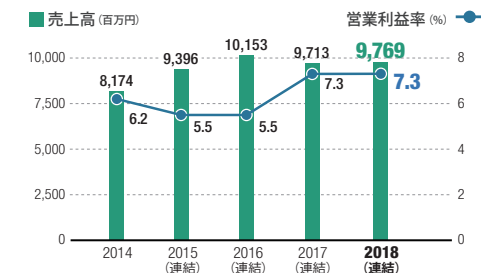
次に営業の変革ですが、`選択と集中、による売上の拡大と営業の効率化を図りました。営業人員体制を機動的に再編成し、特に当社が元請けとしてお取引いただいているお客様に対して今まで以上にきめ細かい提案活動を行った結果、ある官公庁様は売上対前年比2.5倍、大手通信会社様では20倍もの拡大を実現できました。今後もさらにお客様とのパートナーシップを大切に、成果をあげていきます。

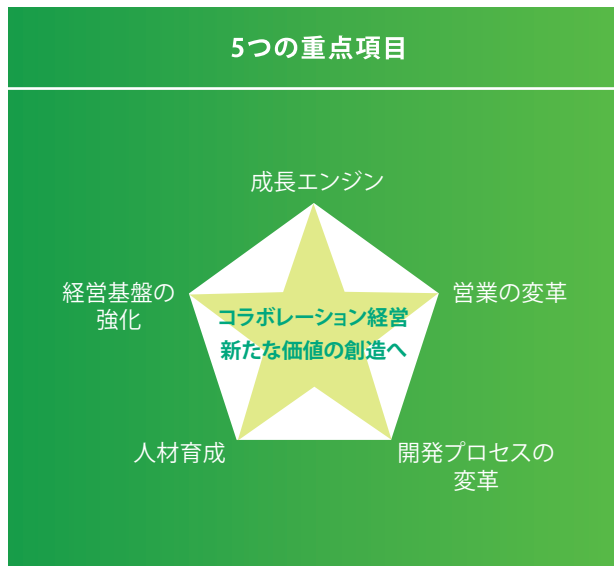
Q 次年度に向けた中期経営計画のポイントは何でしょう？

中期経営計画必達のため、経営基盤の強化に取り組みます。すでに事業計画に連動するかたちで2019年度の組織再編を実行していますが、DX(デジタルトランスフォーメーション)の積極的な推進を鮮明にしていくため法人ビジネス事業部を再編成し、イノベーション推進部、アナリティクス推進部、プラットフォーム推進部を置き、先端技術ニーズに対応した体制で推進します。

また、人材の確保や育成の観点も重視していきます。おかげさまで近年の新卒定期採用は、順調に予定採用人数を確保できています。さらにリファラル採用など、様々な手段を使って即戦力となるエンジニアの採用を強化する予定です。一方、ブロックチェーン、AIなどの新技術分野、またクラウド、RPA分野などへ社員を再配置し、ダイナミックなスキルシフトにより成長エンジンをさらに加速させます。

財務ハイライト





Q 当期の営業成績の概況は
いかがでしたか？

国内経済は緩やかな回復基調の一方、海外では中国経済がやや減速の傾向にありました。情報サービス業界には、政府の成長戦略に沿って「IoT」や「Fintech」、「AI」など、スマート社会の実現に向けて、その役割を担うことが期されています。このような状況下で当社グループは、世の中の役に立つ新たな付加価値創造を目指して事業活動を展開してきました。

当期の業績は、銀行、クレジット向けの大型案件が開発工程を終え減少しましたが、保険、官庁、公共企業向けが増加したことにより、売上高は9,769百万円と0.6%の増収となりました。

売上総利益は2,164百万円と3.0%の増益、営業利益は販管費の増加の影響で715百万円と1.6%の増益にとどまり、経常利益は744百万円と0.7%の増益、当期純利益は535百万円と13.1%の増益となりました。

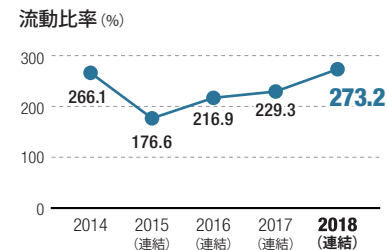
Q 来期の見通しは
いかがでしょう？

クレジット会社向け、銀行向けのシステム開発は、2018年度を若干下回る見通しですが、官公庁自治体向けの大型案件や保険会社向けの案件の開発、BI案件の引き合いや当社および子会社のオリジナルプロダクトの拡販で、売上高10,000百万円と増収を見込んでいます。

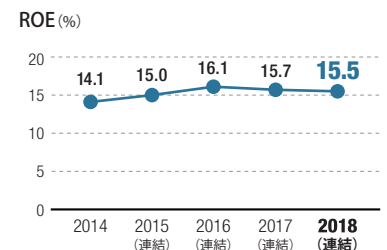
オリジナルプロダクトについては戦略的投資を行い、製品価値を高める計画です。そのため販管費の増加により経常利益は前期より若干マイナスの700百万円を予定しています。

クロスキャットは創業以来、「心技の融和」をモットーにIT技術ひとすじで社会に貢献してきました。これからも「人と社会を繋ぐITイノベーションカンパニー」として、世の中のためになる価値を創造し、皆さまから信頼していただける企業でありつづけるよう努力してまいります。今後ともあたたかいご支援、ご指導をよろしくお願いいたします。

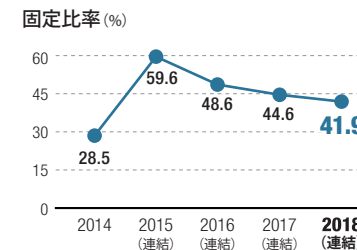
主要経営指標



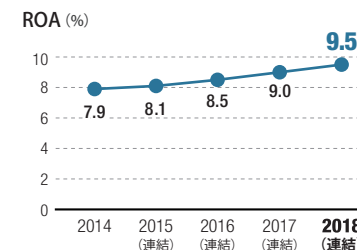
売掛金の増加等により流動資産が増加したため上昇しました。



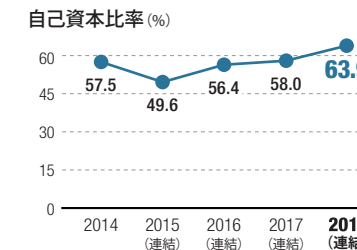
当期も増益でしたが、株主資本の増加により下がりました。



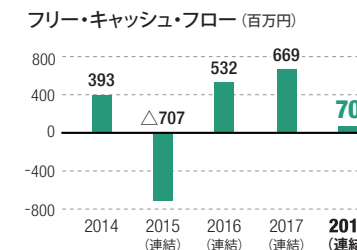
自己資本が増加したため低下しました。



総資産は増加しましたが、増益となったことにより上昇しました。



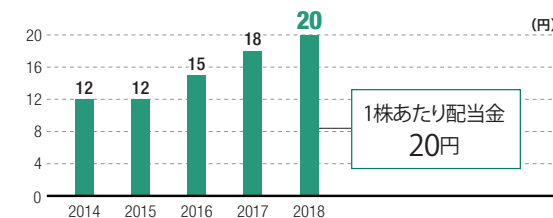
純資産が増加したことで上昇しました。



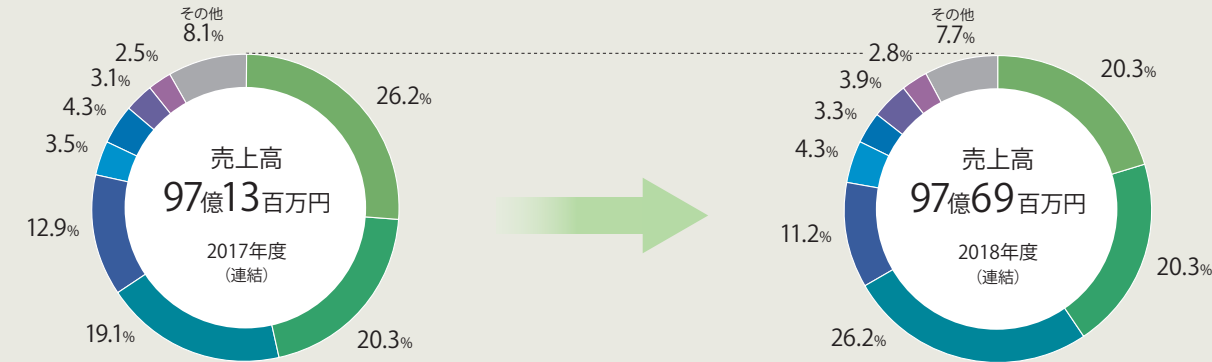
売上債権の増加等により減少しました。

配当について

利益配分については、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、株主様に対する利益還元を継続していくことを基本方針にしています。当期は、東京証券取引所市場第二部から同市場第一部銘柄に指定されたことから、普通配当(18円)に記念配当(2円)を加え、20円とすることになりました。



2018年度クロスキャットの業種別売上構成



クロスキャットは、クレジット、金融を中心に、さまざまな分野へ事業を展開。
“独立系の情報サービス企業”の強みを活かし、幅広い視点と柔軟な発想で、顧客のニーズに応えています。

クレジット 19億87百万円

当社はクレジットの進化とともに、20年以上にわたり数多くのシステム構築(会員の与信や各種提携カード、CD・ATM業務など)を積み重ねてきました。そのなかでもVISAカードやマスターカードなどの“国際ブランドカード”と呼ばれる分野では優位な技術を保有しています。私たちの暮らしに深く浸透しているクレジットカードは、これからも、決済方法の多様化によって成長していくと見込まれています。

金融 19億81百万円

クレジット分野とともに“コア領域”の両軸を担う金融分野では、「銀行」「保険」向けのシステムを構築しています。銀行システムでは、勘定系を中心に業務システムの構築からシステム保守までを手掛け、保険においても大規模インフラ構築を得意分野として、高品質なソリューションを提供しています。

官公庁・自治体・公共事業 25億61百万円

当社は、“電子政府”の実現の一翼を担い、全国規模のインフラ整備やシステム保守を手掛けています。また、当社独自で入札・落札した開発案件を高品質で納品し、高い信用を獲得しております。今後は宝くじ分野での開発に注力します。

製造 10億95百万円

食品・飲料の販売・マーケティング・経営管理などの“戦略情報”に加え、生産工場における“品質管理情報”を提供し、企業活動を支えるシステムを開発。子会社は製造に強いため、製造の構成比が増加しております。

公営競技 4億18百万円

競馬、競輪、競艇、オートレースなどの「公営競技システム」の開発に30年以上携わり、幅広いノウハウを蓄積。投票系から情報系までの公営競技運営システムを提供しています。

通信 3億21百万円

通信会社が提供するネットワークが正常に動作するように24時間・365日の監視をし、故障時の即時対応などで通信会社からの信頼を得ています。また、携帯電話会社の顧客管理システムの開発、携帯電話で使用するネットワークシステムのインフラ構築にも取り組んでいます。

流通 3億82百万円

流通業に係る管理システム等を開発しています。

報道出版 2億71百万円

TV対応システムを主とし、さらに営業を支援するシステムを開発しています。

Trend

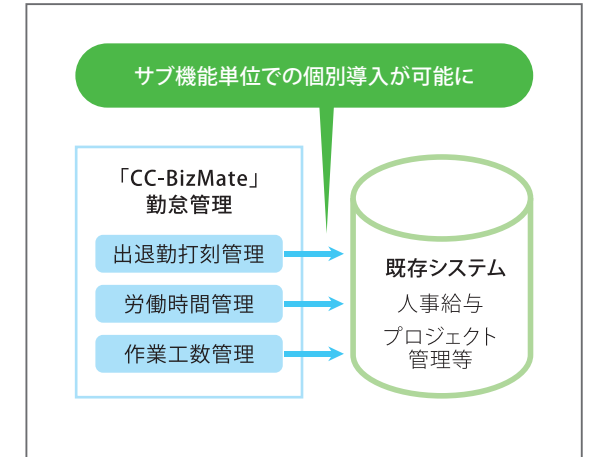
働き方改革 本格始動に向けて

4月に働き方改革関連法が施行され、「働き方改革の本格始動元年」ともなった令和元年。社会の働き方改革への関心も、課題・対策の検討から具体的な施策の実行へと移っています。クロスキャットは、加速する働き方改革へのニーズを大きなビジネスチャンスととらえ、IT技術の活用促進と自社ソリューションサービスの提供をさらに拡大させています。

クラウド型勤怠管理ソリューション 「CC-BizMate」販売強化

近年、労働時間の客観的な把握のため、各企業・団体がさまざまな方法で勤怠管理、労務管理に取り組み、それぞれ課題を抱えています。当社では、こうした各社固有のニーズにいち早く対応できるよう、当社のソリューションサービス「CC-BizMate」のバージョンアップに取り組んでいます。

新バージョンでは、一体となった勤怠管理機能をサブ機能単位に分割・独立させ、お客様が本当に必要とする機能だけを自由な組み合わせで選べ、既存システムとの連携を容易にする柔軟性をもったサービスプランを提供する予定です。今後、「CC-BizMate」のさらなる拡販に取り組み、社会の働き方改革推進を支援していきます。



Column

クロスキャットの働き方改革 自社ソリューションを用いて適切に労働時間を管理

当社では、自社ソリューションシステム「CC-BizMate」を活用して、精緻な勤怠管理を実践しています。そのなかで明らかになった課題をもとに制度や運用を改善し、システムの機能強化を重ねてきました。その結果、過重労働を大幅に削減でき、社員自身によるセルフ管理意識の定着も進んでいます。

このほか、よりよいワーク・ライフバランスの実現を図るため、年次

有給休暇の有効活用を推奨しています。ここ数年で徐々に有休消化率が上昇し、「必要に応じて気兼ねなく休暇がとれる」職場の雰囲気醸成されてきました。さらに2019年度からは、従来は取得期間が限られていた夏期休暇を通年で取得できる「オールシーズン特別休暇」に拡充。社員自らが働き方・休み方を計画的に考え、仕事の生産性を向上するための意識改革を進めています。

女性社外取締役誕生

当社では、企業価値の最大化を図るためには、全てのステークホルダーに対する経営の透明性と健全性の確保およびアカウンタビリティ(説明責任)の明確化、並びにスピードある意思決定と事業遂行を実現することが重要であると認識し、コーポレート・ガバナンスの強化に努めています。

昨今、働き方改革や社会での女性活躍が求められるなか、当社では、2019年6月に初の女性社外取締役が選任されました。

瀬戸川礼子氏は、ジャーナリストとしての取材経験から、企業経営に関する幅広い見識を有しています。また、中小企業診断士、講演講師として経営診断および経営に関する助言をされています。同氏の高い専門性と客観的な視点が、当社の経営体制の充実とコーポレート・ガバナンスの一層の強化、取締役会における多様性の確保につながるものと期待しています。

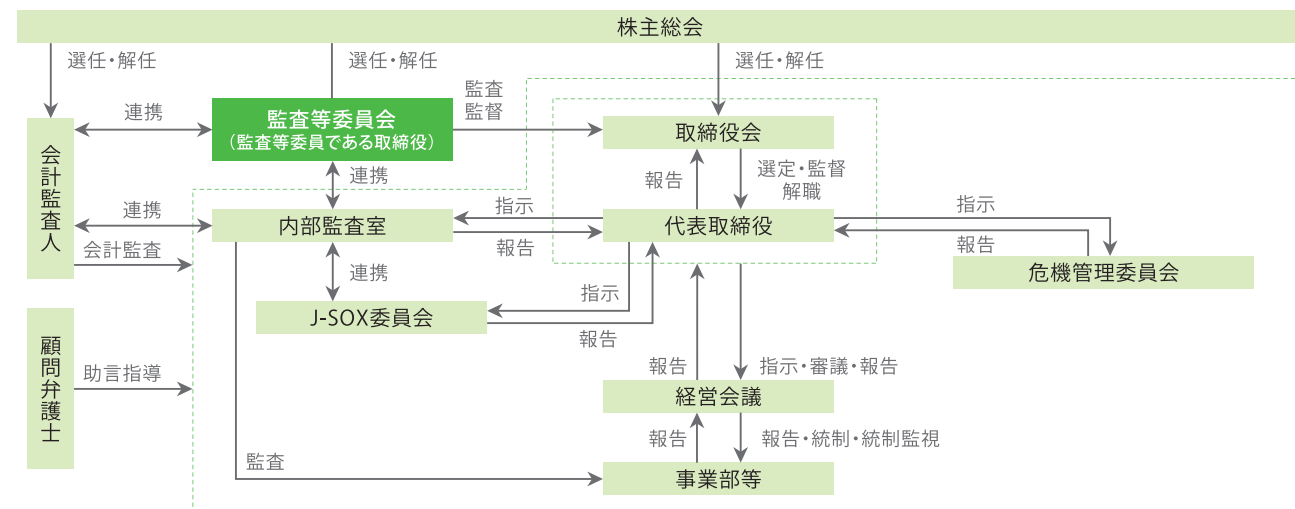


瀬戸川 礼子 (せとがわ れいこ)

プロフィール

- 1993年 5月 株式会社オータパブリケーションズ入社
- 1997年 5月 「週刊ホテルレストラン」副編集長
- 2000年 1月 経営ジャーナリストとして独立
- 2013年 4月 経済産業省「おもてなし経営企業選」選考委員(2期)
- 2014年 4月 中小企業庁政策審議臨時委員(現任)
- 2014年 4月 中小企業庁「はばたく中小企業選」選考委員(現任)
- 2014年 10月 ホホワイト企業大賞委員(現任)
- 2019年 6月 当社社外取締役(監査等委員)就任

コーポレート・ガバナンス体制図



会社概要 / 株式の状況

※ 各情報は、括弧内に日付の記載があるもの以外、すべて2019年3月31日現在のものです。

会社概要

- 商号 株式会社クロスキャット(証券コード2307)
- 設立 1973年6月
- 資本金 4億59百万円
- 売上高 97億69百万円(連結)
- 事業内容 システムソリューション
スタッフサービス
- 従業員数 556名(2019年4月1日現在)
- 認証登録 ISO27001認証 ISO9001認証
プライバシーマーク認定 一般労働者派遣事業
有料職業紹介事業 電気通信事業

事業所

- 本社 〒108-0075 東京都港区港南一丁目2番70号
品川シーズンテラス
TEL:03-3474-5251(代表) FAX:03-3474-5085
- 仙台支店 〒980-0013 宮城県仙台市青葉区花京院二丁目
1番65号 いちご花京院ビル
TEL:022-215-6661(代表) FAX:022-215-6688

役員 (2019年6月26日現在)

- 代表取締役会長 …… 牛島 豊
- 代表取締役社長 …… 井上 貴功
- 取締役執行役員 …… 酒井竜太郎
- 取締役執行役員 …… 長野 悟
- 取締役執行役員 …… 山下 智己
- 取締役 …… 田丸 俊次
(常勤監査等委員)
- 社外取締役 …… 天野 忠彦
(監査等委員)
- 社外取締役 …… 五味 洋行
(監査等委員)
- 社外取締役 …… 瀬戸川礼子
(監査等委員)
- 執行役員 …… 吉野 貴之
- 執行役員 …… 小倉 功
- 執行役員 …… 刈屋 文夫
- 執行役員 …… 小野田友彦
- 執行役員 …… 山根 光則
- 執行役員 …… 落合 努
- 執行役員 …… 高尾 良平
- 執行役員 …… 高橋 晶

株式の状況

- 発行可能株式総数 …… 35,800,000株
- 発行済株式総数 …… 9,210,960株
- 株主数 …… 4,337名

大株主 (上位10名)

株主名	持株数 (株)	持株比率 (%)
クロスキャット社員持株会	755,500	9.21
佐藤順子	638,000	7.77
尾野貴子	543,160	6.62
牛島豊	444,600	5.42
小野田亜紀	362,000	4.41
磯田晶子	275,000	3.35
大久保尚子	275,000	3.35
田崎冬子	270,000	3.29
並木豊	267,000	3.25
明治安田生命保険相互会社	240,000	2.92

※ 上記のほか、自己株式が1,008,523株あります。持株比率は自己株式を除く比率です。

所有者別分布

